

海岸・河川の南海トラフ地震・津波対策の促進

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・南海トラフで発生する地震（マグニチュード8～9クラス）は、今後30年以内の発生確率が70～80%と、平成30年2月に引き上げられており、震度7の揺れと巨大津波の脅威は刻々と増えています。
- ・このため、本県をはじめ大規模な被害が想定される地域においては、時間的な制約のあるなかで実効性の高い地震・津波対策へ優先的に投資することが必要です。県都・高知市を中心とする高知県中央部は、人口や経済・都市機能が集積しており、高知県中央部の被害を最小化することが県全体の早期復旧・復興に繋がるため不可欠です。
- ・特に緊急性・重要性の高い一連区間の地震・津波対策を早期に完了させるため、来年度予算の重点配分や、強靱な国土形成に向けた新たな財政支援制度の創設など、国の積極的な財政支援をお願いします。

【政策提言の具体的内容】

県人口の約45%が集中し、経済・都市機能が集積する県都・高知市を中心とする高知県中央部の被害最小化のために、浦戸湾（高知港、高知港海岸、二級河川）、高知海岸の地震・津波対策が急務

県都・高知市の浸水被害の最小化や早期の社会活動の復旧・復興のために、三重防護と河川堤防、海岸堤防の耐震対策を迅速かつ確実に促進すべきと考えます。

三重防護

- ① 高知新港の防波堤の延伸と粘り強い化 ⇒ 津波のエネルギーを減衰
- ② 浦戸湾湾口部での防波堤整備と海岸堤防の耐震対策・嵩上げ ⇒ 湾内への津波の侵入を低減
- ③ 浦戸湾内の海岸堤防の耐震対策・嵩上げ ⇒ 背後地への浸水を防止

河川堤防

- ④ 浦戸湾に流入する河川堤防の耐震対策・嵩上げ ⇒ 背後地への浸水を防止

海岸堤防

- ⑤ 直轄高知海岸の海岸堤防の地震・津波対策 ⇒ 背後地への浸水を防止

【政策提言の理由】

○本県では、高知市（浦戸湾内）を中心に、一定区間の効果が発現できるよう、平成28年度、29年度には補正予算も頂きながら整備を進めてきました。しかしながら、対策が必要な箇所が多くあることから、その整備推進が急務となっています。

○特に緊急性・重要性の高い一連区間の地震・津波対策を早期に完了させるため、来年度予算の重点配分をお願いします。さらに、強靱な国土形成に向けた新たな財政支援制度の創設など、国の積極的な財政支援をお願いします。

（現在の進捗状況）

- ・三重防護については、昨年5月に種崎地区（外縁部）で国直轄工事に着工。
- ・県事業では、平成29年度予算で重点区間①（江の口・下知工区）が完了。今後は重点区間②（潮江工区、高須工区）に重点を移していく。

【高知県担当課】 土木部 河川課、港湾・海岸課